

## 令和7年度スポーツ庁委託事業「感動する大学スポーツ総合支援事業」

②大学生指導員の養成・確保に関する実証事業 企画提案書（事業概要資料）

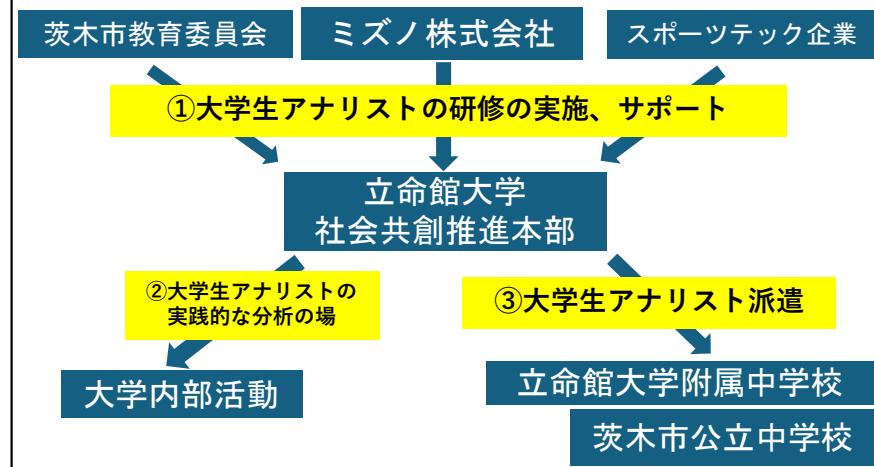
**大学名**

**立命館大学**

<b>実施計画名</b>	立命館大学によるスポーツアナリスト育成および中学生への還元モデル構築プロジェクト
<b>事業概要</b>	<p>立命館大学は、スポーツアナリストとしての専門性を有する大学生を育成し、地域の中学校部活動における支援活動を通じて持続可能な地域連携型の部活動支援モデルの構築を目指す。</p> <p>事業①：大学生アナリストの育成に向けた研修・実践プログラムの開発と実施 スポーツテックや映像分析、ヒアリング・プレゼンテーション技術などを学ぶ研修プログラムを大学生向けに開発・実施する実践的な分析活動を通じて、実社会で通用するアナリストの育成を図る。</p> <p>事業②：育成された大学生アナリストの中学校・地域スポーツ現場への派遣と支援活動の実施 アナリストとしての研修と実践を経た大学生を、立命館中学校および茨木市内中学校等へ派遣し、分析支援や体験授業などを実施する。教員の負担軽減と生徒の成長支援を両立する。</p> <p>事業③：持続可能な地域連携型部活動支援モデルの構築と体制整備 大学・自治体・民間企業が連携し、大学生アナリストの継続的な育成と現場派遣が可能となる支援体制の構築を目指す</p>

### ■大学生指導員の養成・確保に当たっての仕組みやフロー

- 本学からスポーツアナリスト志望の学生や部活動指導員になりたい学生に対し、アナリスト育成講座を行い、本学の部活動にて実践的な分析の場を提供。
- 養成された学生アナリストを、立命館大学付属校や茨木市の公立、市立の中学校へ派遣。
- 日本はアナリスト不足であり、立命館大学から多くのアナリストを育成することで、茨木市にしかできない質の高い学びや運動機会の提供につながり、持続可能な地域連携型の部活動支援モデルの構築を目指す。
- 5-6月にかけて研修を行い、学生たちが部活にヒアリングを行い、課題を特定。7.11月には大学内で部活動と協力し、実践的にアナリストを育成する。11月から1月にかけて中学校で指導員として指導を行う。



### ■実証事業の検証・評価方法

本事業における成果は、以下の観点から多角的に評価を行います。

- ① 学生の学習成果と成長度の評価
  - アナリストスキル習得状況の可視化
  - 部活動現場の導入効果
- ② 中学校現場における導入効果の評価
  - 生徒の理解度・参加満足度
  - 指導者側の認識変化
- ③ モデルの再現性と社会的展開可能性
  - 文書化・ガイドライン化の進捗
  - 他校・他地域への展開可能性

### ■事業の実施体制図 (学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと)

